

学校を飛び出して、
地元で活躍するオトナを取材しよう！

自分が農業業界に入って 農業の仕組みを 変えていきたい。

細野ファーム
代表 細野晃大



池田町でトマト農家として活躍している細野晃大さんに農業の楽しさや難しさ、今後の目標について伺いました。

Q..なぜ農家になろうと思ったのですか？

自分にしか出来ない仕事があったからです。そこで何が出来るか考えたときに、昔から池田に住んでいて自然が好きだからそれにかかわる仕事がしたいと思い、農家になりました。

Q..農家になってどんなことを感じましたか？

農家を始める前に勉強のため、別の農家さんの下へ働きに行きました。そこで自分が思っていた農業とかけ離れた現実を目の当たりにしました。それは、低賃金や労働環境の悪さ、休みがとりにくいなどです。

こんな状況では若い子たちは入ってこないだろうと思つたし、今の時代に合っていないと感じました。このままだと農業は廃れてしまうし、国そのものが自分のご飯を自分で作れない状況になつてしまい、国が廃れてしまうと考えました。その状況を自分が農業業界に入って変えていきたいと考えました。

Q..細野さんが行った農業を変えていくための工夫は何ですか？

「雨だから休み」だとか、「今年は天気が悪いから野菜がとれなかった」など、天候に左右されることないようになると、腰を曲げたり重いものを持ち上げたり、高いところや足元が悪い状況で作業しなくていいようにハウス栽培をしました。

また、コンピュータ制御を行いました。ハウスの温度や二酸化炭素濃度などをコントロールしておくことで環境による変化を抑え、ある程度の収穫量が把握できるようになりました。



Q..なぜトマトを選んだのですか？

自分が作つた野菜は自分で売りに行きたい、という思いがありました。それで、マーケットを調べたら女性一番人気の野菜はトマト。男性の中でも人気の五番がトマトで、今も変わらない。また、トマトは日持ちが良いのでトマトに決めました。

Q..コンピュータを使った農業のデメリットは何か？

正直、その施設があればトマトが作れちゃうことです。資本主義が拡大してしまい、お金さえあればパプリカもキュウリも作れてしまいます。気候によるダメージがなくなることはメリットでもあるけど、その植物の特徴がなくなって日本の伝

統的な野菜が、海外でも作れるようになってい
る。お金さえあれば、ある程度作れちゃうのがデ
メリットですね。農業の技術は僕らの技術じゃな
くて、コンピュータの技術なつてしまったんです
ね。

Q..農業で大変なことは何ですか？

トマトにベストな環境を用意しようと、最初は
気候をなんとか制限したいと思つていたんです。
でも気候は人間の力で制御できないのが農業の面
白いところでもあり、難しいところでもありま
す。

今これだけ暑かったり、7月なのに全然日が当
たらなかったりすると苗の調子もよくなって。逆
にうまく自然を利用していかなくちゃいけないと
も思っています。

例えば、これだけ暑かったらマンゴーとかバナ
ナなどを植えても面白いと思つています。その時
の状況や気候に合わせて、自分のやりたいことを
考えていかななくちゃいけないと思つています。
また、コンピュータや設備が農業に大きな役割



を持つていますが、結局は作り手の技術や目も大
事になります。

Q..農業のやりがいは何ですか？

自分の作つた野菜を食べて、「おいしい」と
言つてもらつてまた買つてもらふことです。その
お金で従業員さんにしつかりとお給料として渡せ
るので、従業員さんにとつても、僕にとつても嬉
しいことです。

また、僕は地域活性化も目標に挙げていて、東
京で有名になるようなトマトやトマトジュースを
作り、田舎に還元されてみんなが良いと思える仕
組みを作つていきたいと思つています。

Q..今後の夢や目標はありますか？

僕の夢は、自社を通して地域活性化をすること
です。今は、トマトを中心に育てていますが、こ
れからは気候に合わせてほかの野菜や果物も挑戦
したいです。また、観光農園をつくり、この農園
を通してより多くの人に農業を学んでもらい、池
田町にたくさんの人を呼びたいです。

Q..高校生活の中で私たちが今やっておくべきこ
とはありますか？

僕は結構適当な人間で高校生の頃は、自分が
僕は結構適当な人間で、高校生の頃は自分がやり
たいと思つたときにしか行動を起こせなくて、何
もしたくないときは何もみませんでした。です
から無理にやろうとすると余計に大変な思いをする
ので、何かやりたいことを見つけた時に全力で走
ることができたらいいと思つています。

ただ今になって思うのは部活を頑張つて良かつ



【感想】

細野さんの目標は、新しい農業の仕組みをつく
り誰もが喜べる環境を作ることです。私はそれを
聞いて自分だけでなく周りの人のことも考えてい
てすごいと思つきました。だから私も普段の生活の
中で周りの人のことも考えられるような人になり
たいと思つきました。また今回のプログラムでは、
インタビューや原稿づくりなど貴重な体験ができ
たのでこれからの生活に生かしていきたいです。

【取材・記事】 一年 今西志帆